

平成20年度総会

日時：平成20年5月24日(土)
会場：神戸国際展示場 2F-A 「第1会場」



社団法人

日本超音波医学会

〒101-0063

東京都千代田区神田淡路町2-23-1

お茶の水センタービル6F

U R L:<http://www.jsum.or.jp>

T E L:03-6380-3711

F A X:03-5297-3744

E-Mail: office@jsum.or.jp

平成20年度総会次第

日時：平成20年5月24日（土） 12時30分～13時30分

会場：神戸国際展示場 2F-A 「第1会場」

開会

理事長

議長選出

理事長

理事長挨拶

理事長

議題

- | | | |
|------------------------|-------|--------|
| 1. 平成19年度事業報告 | (資料1) | 総務担当理事 |
| 2. 平成19年度収支決算報告 | (資料2) | 財務担当理事 |
| 3. 平成19年度収支決算監査報告 | (資料3) | 監事 |
| 4. 平成20年度事業計画(案) | (資料4) | 総務担当理事 |
| 5. 平成20年度収支予算(案) | (資料5) | 財務担当理事 |
| 6. 平成20・21年度役員及び代議員の選任 | (資料6) | 理事長 |
| 7. 会員の除名 | (資料7) | 理事長 |
| 8. 名誉・功労会員推薦 | (資料8) | 理事長 |
| 9. 新公益法人への移行について | | 理事長 |
| 10. その他 | | |

次期理事長挨拶

次期理事長

議事録署名人の選出

議長

閉会

議長

功労会員の表彰

理事長

第10回特別学会賞表彰

理事長

第7回松尾賞表彰

理事長

第8回技術賞表彰

理事長

第9回奨励賞表彰

理事長

永年勤続表彰

理事長

(資料1)

平成19年度事業報告

(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

平成19年度における本会の事業報告は次のとおりである。

I. 会員現況

(平成20年3月31日現在)

| 会員種別 | 平成19年3月31日 現在数 | 平成20年3月31日 現在数 | 増 減 | 備 考 |
|------|-------------------|-------------------|-------|-----|
| 名誉会員 | 23 | 25 | + 2 | |
| 功労会員 | 31 | 35 | + 4 | |
| 正会員 | 8,020 | 7,929 | - 91 | |
| 準会員 | 5,380 | 5,481 | + 101 | |
| 学生会員 | 1 | 2 | + 1 | |
| 賛助会員 | 19(65口) | 20(67口) | + 1 | |
| 計 | 13,474 | 13,492 | + 18 | |

名誉会員(*物故者)

*青柳健次 *加藤金正 *菊池喜充 *田中憲二 *吉田常雄 *吉岡勝哉
*永山徳郎 *金子仁郎 *寒吉純一 *古賀孝 *海老名敏明 *板原克哉
*岡益尚 *奥山大太郎 *中島茂 *安藤弘 *井出正男 *奥島基良
林周一周子・ダン 有賀槐三 和賀井敏夫 ジシ・ルーム 仁村泰治
尾本良三 竹原靖明 福田守道 渡邊決 松尾裕英 平田經雄
飯沼一浩 堤裕 竹内久彌 田中元直 北畠頸名 博
中山淑伊藤健一 伊東絢一 伊東正安 普原基晃 大槻茂雄
吉川統一

(以上43名)

III. 特別学会賞

第9回特別学会賞は、次の2名に授与された。
竹内久彌(医療法人順和会山王病院産婦人科)

平田經雄(医療法人天神会新古賀病院)

IV. 松尾賞

第6回松尾賞は、次の2名に授与された。
蜂屋弘之(千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター)
廣岡芳樹(名古屋大学附属病院光学医療診療部)

V. 技術賞

第7回技術賞は、該当者がいなかった。

VI. 菊池賞(論文賞)

第21回菊池賞・第2回伊東賞は、次の4編に授与された。

菊池賞

超音波カテーテル・ナビゲーションシステムの基礎的検討
瀬尾育式¹, 岩間信行¹, 本郷宏信¹, 小笠原洋一¹, 宮島泰夫¹, 山形仁²
(^{1,2}東芝メディカルシステムズ株式会社)

Measurement of nonlinear property of artery wall using remote cyclic actuation
Hideyuki HASEGAWA¹, Hiroshi KANAI²
(^{1,2}Graduate School of Engineering, Tohoku University)

伊東賞

New method of sentinel node detection using a combination of contrast-enhanced ultrasound and dye guidance: an animal study
Kiyoka OMOTO¹, Yasuo HOZUMI², Yoshito NIHEI², Yawara OMOTO³, Hirobumi MIZUNUMA³, Hideo NAGAI², Harumi KOIBUCHI¹, Yasutomo FUJII¹, Nobuyuki TANIGUCHI¹, Kouichi ITOH¹
(^{1,2}Jichi Medical University)

A fundamental study for quantitative measurement of ultrasound contrast concentration by low mechanical index contrast ultrasonography
Satoshi YAMADA¹, Kaoru KOMURO², Mariko TANIGUCHI³, Ayumi URANISHI³, Hiroshi KOMATSU¹, Toshihiko ASANUMA², Fuminobu ISHIKURA², Hisao ONOZUKA¹, Taisei MIKAMI⁴, Hiroyuki TSUTSUI¹, Shintaro BEPPU¹
(¹Hokkaido University Graduate School of Medicine, ²Hakodate National Hospital, ³Osaka University Faculty of Medicine, ⁴Hokkaido University School of Medicine)

VII. 奨励賞

第8回奨励賞は、次の6編に授与された。

基礎領域

ソノボレーションによる遺伝子導入効率：気泡特性に対する検討
小玉哲也(東北大)

Real-Time Tissue Elastographyの前立腺対応システムの開発
松村剛(株式会社日立メディコ)

循環器・体表領域

頸動脈弹性特性の生活习惯病での測定の意義
山岸俊夫(東北公済病院)

肩痛の既往からみた腱板断裂の発生頻度について
皆川洋至(秋田大学医学部附属病院)

消化器領域

体重変化に伴う内臓脂肪・皮下脂肪および脂肪肝レベルの変化
仙田美穂(鳥取大学附属病院)

ラットNASHモデルにおけるCEUS後期相の造影能とKupffer機能
辻本達寛(奈良県立医科大学附属病院)

Ⅳ. 学術集会

第80回学術集会(会長 鄭 忠和)は、平成19年5月18日(金)、19日(土)、20日(日)の3日間、城山観光ホテル・かごしま県民交流センター(鹿児島県)を会場として開催した。参加人員1,719名、発表内容は下記のとおり。

| 第80回学術集会 | |
|--|--|
| 一般演題 | 奨励賞選考口演会 14題 一般演題 246題(基 35、循環器 55、消化器 72、産婦人科 36、体表 20、頭頸部・胸郭 6、小児科 5、運動器 6) ポスター 88題(基 6、循環器 49、消化器 33) 合 計 348題 |
| Invited Lecture | 1) Focused Ultrasound Interventions 2) Contrast Echocardiography - Novel Approach to Attenuation Compensation of Harmonic Signals Generated by Microbubbles 3) Ultrasound Investigation in Microgravity-Personal Inflight Study 4) The Impact of Echocardiography in Valvular Heart Disease: Issues in Aortic and Mitral Valve Disease 5) Doppler Echocardiographic Basis for Successful Pacing for Heart Failure 6) Ventricular Torsion: The Link Between Systole and Diastole 7) Intraoperative Ultrasonography in Liver Surgery: State of The Art and New Advancements 8) Doppler Ultrasound and Fetal Welfare: Today and Tomorrow 9) Benign versus Malignant Thyroid Nodules: Ultrasonographic Differentiation |
| International Echocardiographic Seminar | 1) Ventricular-vascular Interaction 2) New Technology in Three-dimensional Echocardiography: Where We Are Going 3) Assessment of Right Ventricular Function by Real-time Three-Dimensional Echocardiography 4) Myocardial Strain 5) Tissue Doppler Imaging: A Powerful Prognosticator in Heart Diseases |
| International Symposium: Echocardiographic Evaluation of Cardiac Function 2007 | 1) Diastology: Current Understandings and New Issues 2) Two-dimensional Ultrasound Speckle Tracking Imaging Is Useful for Assessing Left Ventricular Systolic and Early Diastolic Function-Comparison with Invasive Parameters 3) Quantification of Regional Myocardial Function for Diagnosis of Viability or Left Ventricular Remodeling 4) Assessment of Myocardial Function Using Strain and Strain Rate Imaging 5) Pulsed Wave Tissue Doppler Imaging Echocardiography Evaluation of Left Ventricular Contractile Function 6) Evaluation of Cardiac Function by Tei index |
| 会長講演 | 超音波心エコーによる心機能評価の進歩 |
| 教育講演 | 1) 超音波血栓溶解療法 2) T乳がん検診における超音波検査の位置づけ 3) 小児の腹部超音波診断 -消化管エコーの夜明け- 4) 先天性心疾患心エコーの標準的方法 -ソノグラファーの協働を- 5) 消化管の超音波に関すること 6) 当院における血管超音波検査の現状 |
| シンポジウム | 1) エンジニアフォーラム：超音波イメージング技術の最前線 2) 超音波を利用したDrug Delivery Systemの最前線 3) 高齢者の弁膜症を考える：特に高齢者の大動脈弁狭窄について 4) 腹部領域におけるInterventional Sonography 5) ドラッグエコーの泌尿器科疾患への応用 6) 結節性甲状腺腫の定量的評価 7) 妊娠中期の胎児異常のスクリーニング |
| パネルディスカッション | 1) 血流情報は、何処まで診られるようになったか？ 2) 超音波による歪みの計測精度：基礎から臨床 3) 血管エコー検査の標準化を目指して 4) 手術場・ICUでの心エコー：外科・内科・麻酔科の連携 5) 肝癌診断最近の動向 -治療支援- 6) 肝癌診断最近の動向 -診断- 7) 産婦人科ハイリスク患者の超音波診療 8) 超音波医療における技師の役割と教育 |
| ワークショップ | 超音波生体作用の治療への展望：基礎と臨床 |
| ディベート/パネルディスカッション | 検査法評価に関する問題点を探る：あなたならどうしますか？ |
| 教育セッション | 1) 基礎 3題 2) 初級 9題 3) 症例検討2題 4) 中上級 9題 |
| その他 | 第21回菊池賞・第2回伊東賞(論文賞)受賞記念講演 新技術開発セッション 検査業務の安全管理のためのシンポジウム ランチョンセミナー 展示デモフロンティアテクノロジー |
| 機器展示 | 27社 |

| 科目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 異 | 備 考 |
|------------------------|---------------|---------------|---------------|-----|
| II 投資活動収支の部 | | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | | |
| 敷金・保証金戻り収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 敷金戻り収入 | (0) | (0) | (0) | |
| 特定預金取崩収入 | 15,000,000 | 7,000,000 | 8,000,000 | |
| 事務所整備基金取崩収入 | (5,000,000) | (0) | (5,000,000) | |
| 学術奨励基金取崩収入 | (3,000,000) | (0) | (3,000,000) | |
| 松尾賞基金取崩収入 | (1,000,000) | (1,000,000) | (0) | |
| 研究開発班設置基金取崩収入 | (5,000,000) | (5,000,000) | (0) | |
| 伊東賞基金取崩収入 | (1,000,000) | (1,000,000) | (0) | |
| 投資活動収入計 (D) | 15,000,000 | 7,000,000 | 8,000,000 | |
| 2. 投資活動支出 | | | | |
| 敷金・保証金支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 敷金支出 | (0) | (0) | (0) | |
| 特定預金繰入支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 退職給付引当預金支出 | (0) | (0) | (0) | |
| 研究開発班設置基金繰入支出 | (0) | (0) | (0) | |
| 投資活動支出計 (E) | 0 | 0 | 0 | |
| 投資活動収支差額 (F)=(D)-(E) | 15,000,000 | 7,000,000 | 8,000,000 | |
| III 財務活動収支の部 | | | | |
| 1. 財務活動収入 | | | 0 | |
| 財務活動収入計 (G) | 0 | 0 | 0 | |
| 2. 財務活動支出 | | | 0 | |
| 財務活動支出計 (H) | 0 | 0 | 0 | |
| 財務活動収支差額 (I)=(G)-(H) | 0 | 0 | 0 | |
| IV 予備費支出 | | | | |
| | 500,000 | - | 500,000 | |
| 当期収支差額 (J)=(C)+(F)+(I) | 0 | △ 9,099,633 | 9,099,633 | |
| 前期繰越収支差額 (K) | 0 | 56,734,068 | △ 56,734,068 | |
| 次期繰越収支差額 (J)+(K) | 0 | 47,634,435 | △ 47,634,435 | |

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、前払金、仮払金、未収入金、前受金、仮受金、未払金及び預り金を含めている。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

| 科目 | 前期末残高 | 当期末残高 |
|----------|------------|------------|
| 現金預金 | 60,759,948 | 42,682,835 |
| 前 払 金 | 5,875,990 | 4,782,698 |
| 仮 払 金 | 5,400,000 | 5,000,000 |
| 未収入金 | 466,500 | 270,000 |
| 合計 | 72,502,438 | 52,735,533 |
| 前 受 金 | 943,000 | 954,370 |
| 仮 受 金 | 2,055,000 | 2,121,500 |
| 未 払 金 | 12,381,840 | 1,738,162 |
| 預 り 金 | 388,530 | 287,066 |
| 合計 | 15,768,370 | 5,101,098 |
| 次期繰越収支差額 | 56,734,068 | 47,634,435 |

(資料 3)

平成 19 年度収支決算監査報告

平成 19 年度収支決算について、監査をおこなったところ、適正な
経理が行われたことを認めます。

平成 20 年 4 月 17 日

社団法人日本超音波医学会

監 事 千原 國彦 

監 事 重見 元義 

独立監査人の監査報告書

平成 20 年 4 月 17 日

社団法人日本超音波医学会

理事長 千田 彰一 殿

馬目公認会計士事務所

公認会計士

馬目利行



私は、社団法人日本超音波医学会の平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日までの平成 19 年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、並びに収支計算書（以下「財務諸表等」という。）についての監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、社団法人日本超音波医学会の平成 19 年度末日現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認められる。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成 17 年 3 月 23 日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、社団法人日本超音波医学会の平成 19 年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

社団法人日本超音波医学会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- c. 平成21年度研究開発班の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
- d. 平成21年度研究会の設置申請の公募を行い、応募書類を審査する。
- e. 第81回学術集会会期中に「新技術開発セッション」を実施する。
- f. 第81回学術集会会期中に「研究成果発表会」を実施する。

13. 倫理委員会

- a. 倫理委員会委員として外部委員の選任を行う。
- b. 超音波医学の研究、診療、教育情報、安全に関する倫理的諸問題について審議、及び検討を行う。

14. 学術集会委員会

学術集会の事後評価を行い、一般会員の視点からより良い在り方を検討する。

15. 会員資格審査関係

会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行う。
1) 入会希望者及び退会希望者の審査
2) 除名該当者の審査
3) 会員種別変更希望者の審査
4) 休会希望者の審査

16. 学術集会関係

第84回学術集会会長候補者について、役員及び代議員宛に自薦、並びに他薦依頼を行い、それに基づき候補者を理事会で決定する。

17. 地方会関係

- a. 地方会に関する事業の発展、充実及び円滑な運営の促進
1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行う。
2) 地方会交付金の算定を行い、交付する。
3) 地方会学術集会に関して助言を行う。
4) 地方会講習会に関して助言を行う。
- b. 地方会運営委員長会議の開催し、各地方会相互の連絡を緊密に行う。
- c. 地方会を通じての正会員数増加の推進を行う。
- d. 各地方会学術集会演題受付Webシステムの構築、及び抄録のWeb掲載について審議し、平成20年度から導入する。

18. 規約関係

理事長の諮問を受けて、学会運営に関する諸規約の制定、及び改正について逐次審議し、作案する。

19. インターネット関係

引き続き本学会会員のためのWEBシステムの改良を行い、会員への利便を図る。

VII. 日本医学会関係

- 1. 第76回日本医学会定例評議員会に参加する。
- 2. 日本医学会シンポジウムに協力する。

(資料 7)

除名者
(平成20年3月31日現在該當者)

253名

内訳 正会員 182名

準会員 71名

学生会員 0名

賛助会員 0社

功 劳 会 员 推 荐

本学会功労会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

- | | |
|----|----------------------|
| 1. | ア タイ ヒトシ 朝井 均 氏 |
| 2. | アキヤマ ラヨヒロ 秋山 隆弘 氏 |
| 3. | オカムラ ケンジ 大平 悅三 氏 |
| 4. | ナカムラ ケンシ 中村 憲司 氏 |
| 5. | マツモト マサユキ 松本 正幸 氏 |
| 6. | ヤマグチ テツ 山口 徹 氏 |

第10回特別学会賞

渡邊 決
(京都中央看護保健専門学校校長)

第7回松尾賞

上妻志郎
(東京大学医学部産婦人科)

金井 浩
(東北大学大学院工学研究科電子工学専攻)

第8回技術賞

超音波診断装置の安全性に関する技術：探触子表面温度測定技術
内藤みわ、内山進、岸本真治、小笠原正文、宮沢晃、木下博之、柴田優、大谷修司、
清水豊、矢上弘之、小川信一、倉島寛行、小澤啓一郎、好富英徳
(電子情報技術産業協会(JEITA)超音波専門委員会)

Raw Data Managementに基づいたHybrid Contrast Imaging
加藤生、小笠原正文、地挽隆夫、橋本浩、見山広二、島崎正
(GE横河メディカルシステムズ株式会社超音波事業部)

マイクロフローイメージング(Micro Flow Imaging)
神山直之、吉田哲也、中屋重光
(東芝メディカルシステムズ株式会社超音波開発部)

論文賞

第22回菊池賞

三次元心筋局所収縮率分布イメージング法の開発 34(1)
椎名毅¹、新田尚隆²、山川誠¹、近藤健悟¹、千田彰一³、舛形尚⁴
¹(筑波大学大学院システム情報工学研究科、²独立法人産業技術総合研究所人間福祉医工学研究部門医用計測グループ、
³香川大学医学部附属病院総合診療部、⁴坂出市立病院循環器内科)

第3回伊東賞

Evaluation of malignancy of hepatocellular carcinoma using the ultrasonic B-mode method: clinical significance of extracapsular invasion of hepatocellular carcinoma using ultrasonography 34(2)
Hiroshi NAKAGAWARA¹, Masahiro OGAWA¹, Naoki MATSUMOTO¹, Yoshikazu HIROI¹, Toshiki YAMAMOTO¹, Yoshiki ONO¹, Yasuyuki ARAKAWA¹, Tadatoshi TAKAYAMA², Noriko KINUOKAWA², Hideaki ISHIDA²
¹(Division of Gastroenterology and Hepatology, Surugadai Nihon University Hospital, Tokyo, Japan,
²Division of Digestive Surgery, Nihon University Itabashi Hospital, Tokyo, Japan, ³Department of Pathology, Surugadai Nihon University Hospital, Tokyo, Japan, ⁴Center of Diagnostic Ultrasound, Akita Red Cross Hospital, Akita, Japan)

斑状の心筋虚血領域では冠血流予備能が低下する：コントラストエコー法を用いた実験的検討 34(6)
浦西歩美、増田佳純、五十嵐絵里奈、澤田智美、浅沼俊彦、石藏文信、別府慎太郎
(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻機能診断科学講座)

【顕彰委員会】

委員長 松崎益徳
副委員長 椎名毅
委員
(基礎)秋山いわき 遠藤信行
(体表)谷口信行 小西 豊
(循環器)竹中克里見元義
(消化器)渡辺五朗 斎藤明子
(泌尿器)千葉裕 中村昌平
(産婦人科)上妻志郎

以上14名